小松ウォール工業株式会社　|　東証プライム　7949

2027年3月期第2四半期 決算概要説明

2026年11月25日

目次

事業概要 2

2027年3月期2Q 決算概要 8

2027年3月期 業績予想 18

Appendix 23

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

2027年3月期第2四半期 決算概要説明

事業概要

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

会社概要

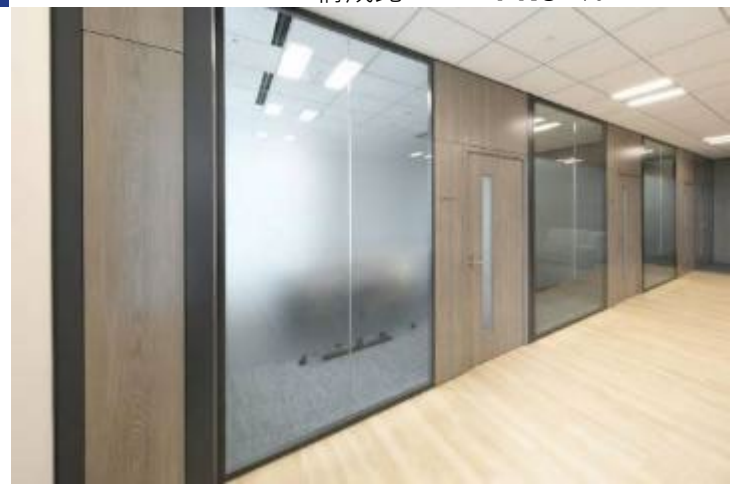
社　　名	**小松ウオール工業株式会社**
代表取締役社長	加納　慎也
設　　立	1968年1月
上 場 市 場	東証 プライム （7949）
事 業 内 容	可動間仕切、固定間仕切、トイレブース、移動間仕切、ロー間仕切の製造、設計、販売、施工等
売　　上　　高	467億円 （2026年3月末）
従 業 員 数	1,446名 （2026年3月末）
本　　社	石川県小松市工業団地1丁目72番地
営 業 拠 点	全国55支店（2026年3月末）

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

主要製品　売上高構成比

可動間仕切

売上高　20,980　百万円
構成比　44.9　%



固定間仕切

売上高　9,410　百万円
構成比　20.1　%



トイレブース

売上高　8,207　百万円
構成比　17.6　%



移動間仕切

売上高　6,145　百万円
構成比　13.2　%



ロー間仕切

売上高　798　百万円
構成比　1.7　%



売上高

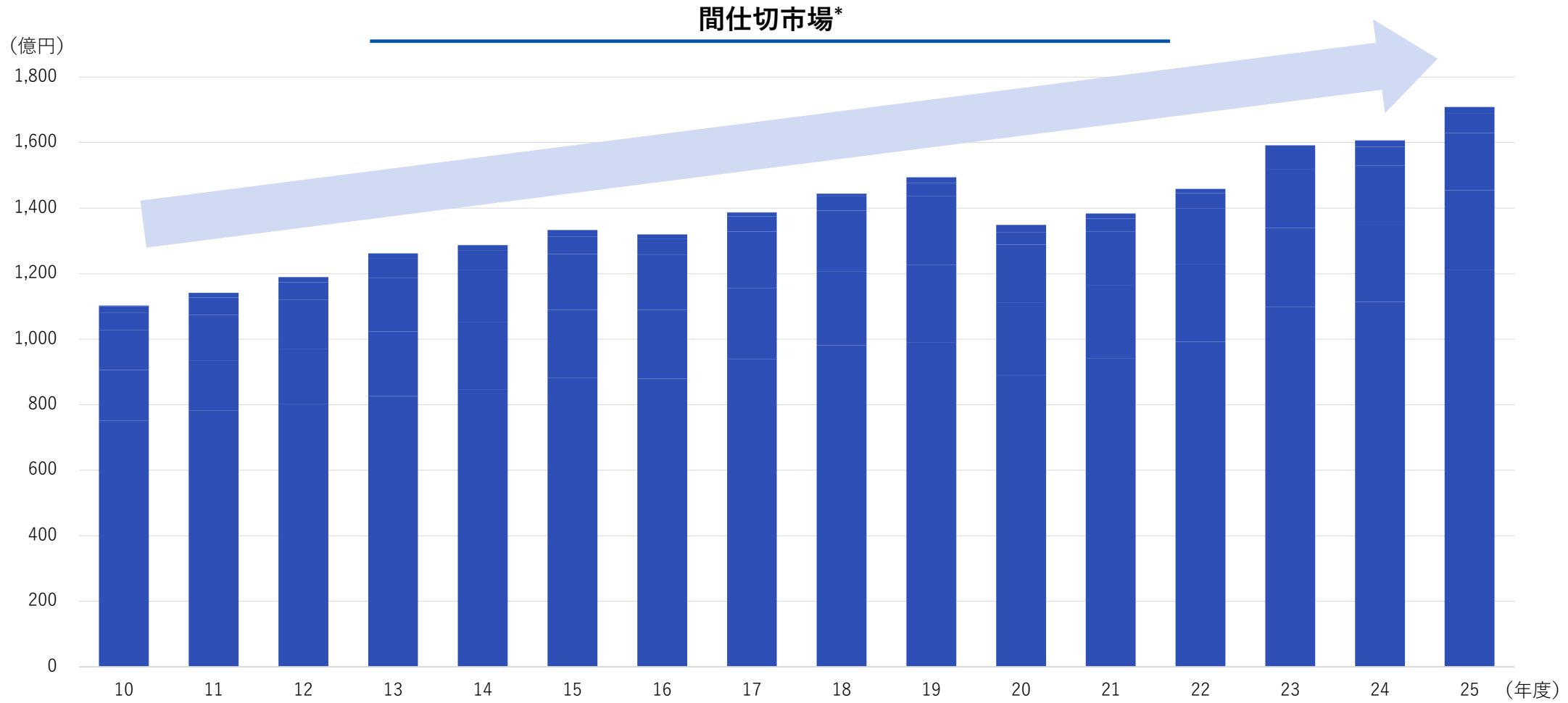
46,725

百万円
（2026年3月期）

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

市場環境

- 2020年度のコロナ禍による減少後は着実に回復、2025年度は6.4％増の1,708億円の販売高となり3年連続で過去最高
- オフィスのリニューアルの増加等で全品目とも販売高は増加、間仕切市場は引き続き好調

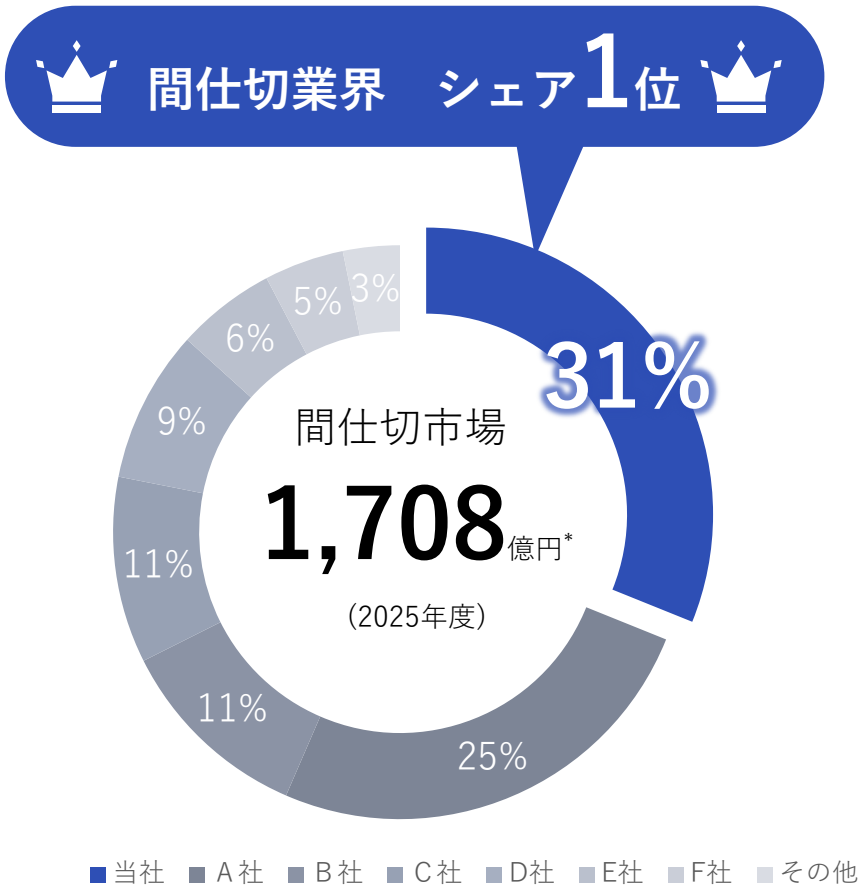


* 日本パーティション工業会に属する間仕切メーカーの販売高合計

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

当社のポジション

▌2025年度の間仕切市場は1,708億円、当社のシェアは業界トップの31.1%（前年度は31.6%）、2位メーカーとは5.7ポイントの差
市場規模の大きい可動間仕切に加えて、移動間仕切、トイレブース、壁面化粧パネルでトップシェア



可動間仕切
29.4% シェア1位
（前年度 30.3%）



移動間仕切
38.0% シェア1位
（前年度 38.8%）



トイレブース
37.2% シェア1位
（前年度 36.1%）



学校間仕切
14.1% シェア4位
（前年度 14.9%）



壁面化粧パネル
49.3% シェア1位
（前年度 32.3%）



* 当社調べ

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

当社の強み

オーダーメイド品を短納期で、全国に供給できる体制

営業	設計	製造	施工	サービス
55支店で全国カバー 地域密着の営業体制	オーダーメイド品を 素早く開発する 設計力・製造ノウハウ	小ロット多品種生産を 実現 オーダーメイド品を 短納期で出荷	全国15ヶ所に サービスセンター 自社でも施工を実施	メンテナンス契約により 定期点検・修理 施工管理保全室を 設置











©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

2027年3月期第2四半期 決算概要説明

2027年3月期2Q　決算概要

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

決算概要

▌オフィスや文化施設向けの可動間仕切や移動間仕切が好調に推移し増収、営業増益。売上・利益ともほぼ期初計画通り

▌原材料費は上昇したが、高付加価値製品の販売増加により前年同期並みの売上総利益率を確保、人材投資など販管費の増加を吸収し営業増益

単位：百万円	2025年3月期2Q		2026年3月期2Q		2027年3月期2Q期初予想（26年4月時点）		2027年3月期2Q実績		前年同期比増減率	予想比増減率
売上高	20,117	100%	21,107	100%	21,900	100%	22,025	100%	4.3%	0.6%
売上総利益	6,820	33.9%	7,437	35.2%	–	–	7,727	35.1%	3.9%	–
営業利益	971	4.8%	1,192	5.6%	1,210	5.5%	1,233	5.6%	3.5%	2.0%
経常利益	1,048	5.2%	1,220	5.8%	1,230	5.6%	1,266	5.7%	3.8%	3.0%
当期純利益	738	3.7%	817	3.9%	860	3.9%	813	3.7%	△0.5%	△5.4%
1株当たり当期純利益	39円56銭*		46円51銭		48円89銭		46円10銭		△0.9%	△5.7%
1株当たり配当金	30円00銭*		65円00銭		65円00銭		65円00銭		–	–

* 2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割。1株当たり当期純利益と1株当たり配当金の算出は分割後の株数で遡及修正

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

品目別売上高

- 可動間仕切や移動間仕切はオフィスや文化施設向け等が好調。一方で、固定間仕切やトイレブースはオフィスや工場向け等が減少
- 受注残は10.2%の増加。オフィスや文化施設向け中心に可動間仕切や移動間仕切が増加、固定間仕切は学校や福祉施設向け等で減少

単位：百万円	2026年3月期2Q	2027年3月期2Q					
	売上高	売上高	前年同期比増減率	受注高	前年同期比増減率	受注残高	前年同期比増減率
合　　計	21,107	22,025	4.3%	26,858	6.6%	25,319	10.2%
└ 可動間仕切	9,901	10,659	7.7%	12,767	17.6%	7,867	26.2%
└ 固定間仕切	4,270	3,980	△6.8%	4,435	△16.3%	5,721	△13.9%
└ トイレブース	3,409	3,296	△3.3%	4,606	△3.4%	5,093	6.0%
└ 移動間仕切	2,649	3,205	21.0%	3,916	20.0%	5,917	23.8%
└ ロー間仕切	335	381	13.9%	391	2.2%	111	△16.9%
└ そ　の　他	541	501	△7.4%	740	20.8%	608	62.5%

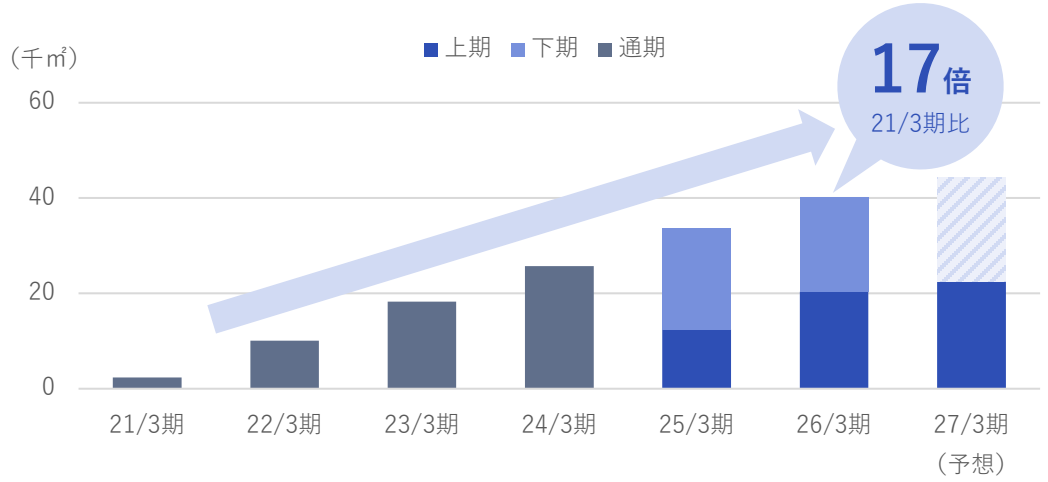
©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

意匠性を高めた高付加価値製品が伸長

- 意匠性を高めた連続ダブルガラス間仕切「マイティスマートレール」（2019年9月発売）の出荷量は27年3月期2Qも前年同期比10%増加
- 2023年10月発売のCopper Seriesも好調継続、27年3月期2Qも前年同期比44%増加。

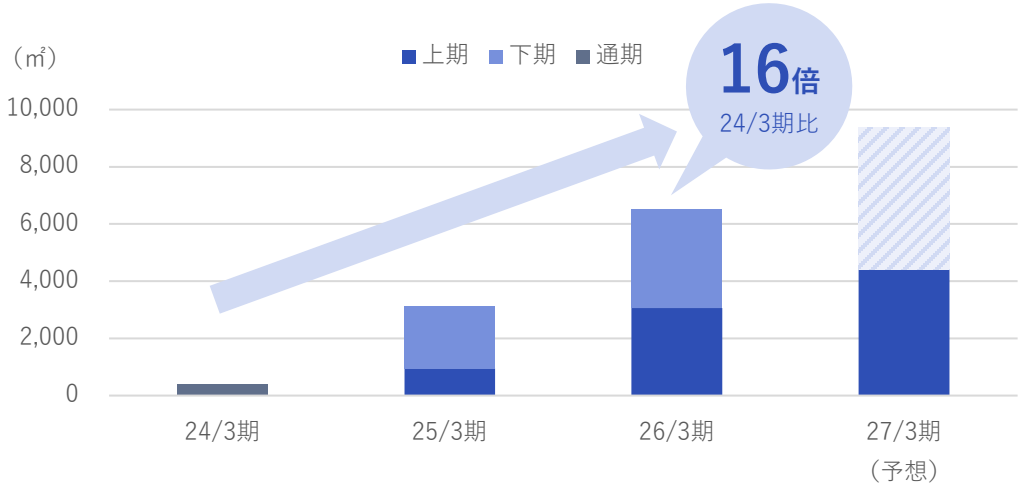
マイティスマートレール（2019年発売）





Copper Series（2023年発売）





©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

大型ショールーム開設・増床

- 2019年から大型ショールームを強化し、大阪、東京、名古屋にオフィス機能と一体化したショールームを順次開設
- デザイン事務所や依頼企業が当社製品に直接触れることで、デザイン性に優れた高付加価値製品の採用が増加

大阪



東京

（第38回「日経ニューオフィス賞」受賞）



名古屋

（第39回「日経ニューオフィス賞」受賞）

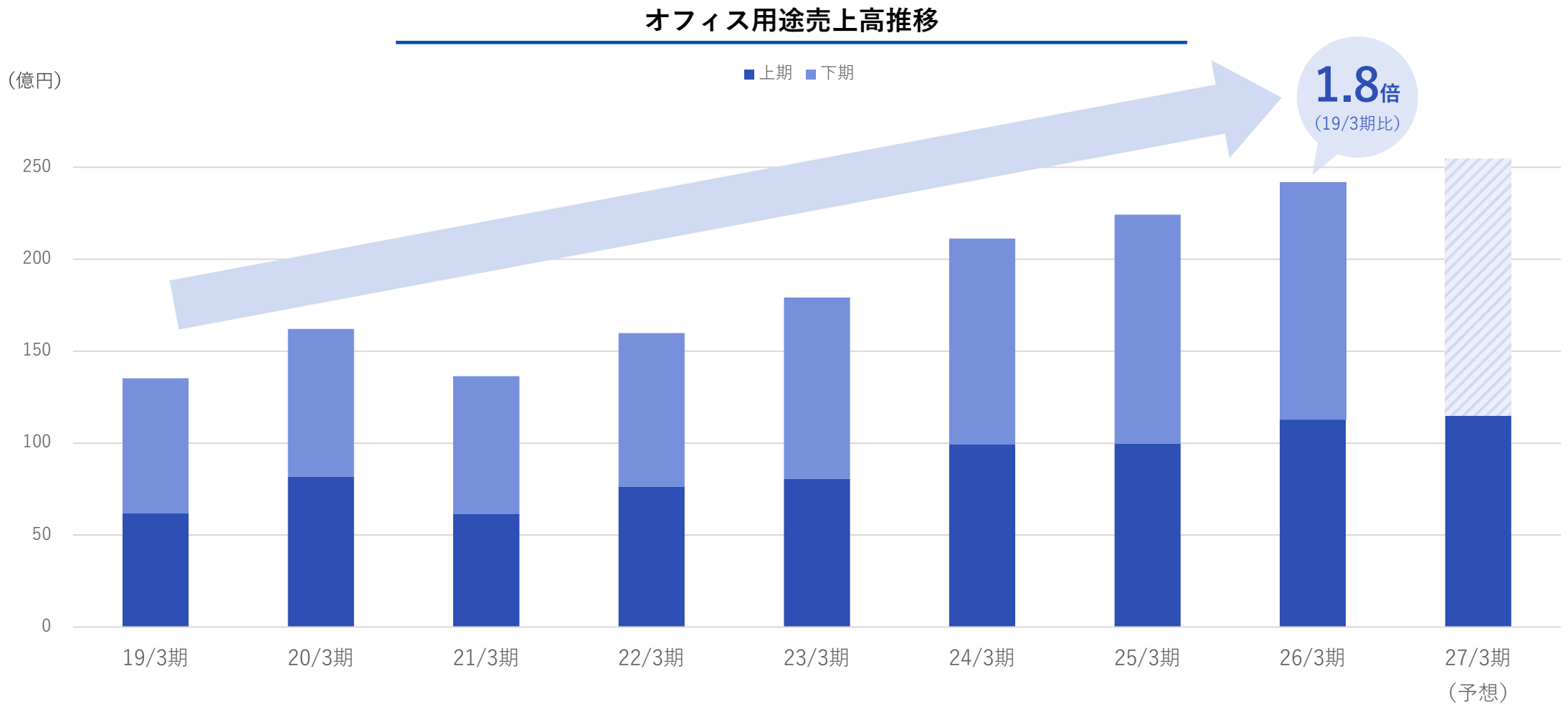


@Kenta Hasegawa

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

オフィス用途売上高の推移

- オフィス移転工事の需要を取り込むため、デザイン事務所や事務器メーカー専門の営業拠点も開設し、オフィス向けを強化
- 2026年3月期のオフィス用途売上高は19年3月期比で1.8倍に増加。27年3月期2Qも前年同期比2%増収と堅調



©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

移動間仕切

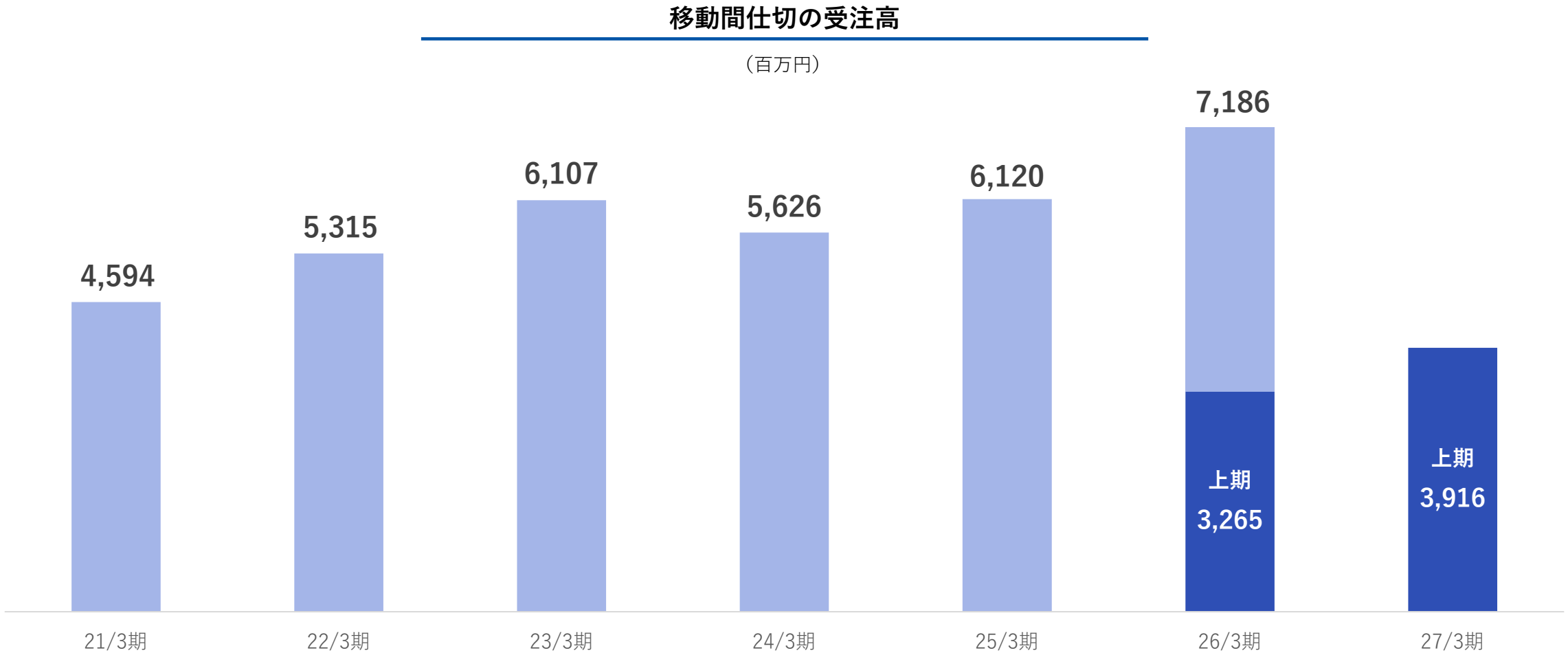
- テレビ東京の『知られざるガリバー』（2026年9月26日放送）で当社の移動間仕切が紹介された。移動間仕切のシェアは38％と業界トップ
- 写真は幕張メッセの高さ10メートルの移動間仕切。二人で移動壁を動かし、ホールを分割することが可能



©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

移動間仕切の受注高推移

▌移動間仕切の売上高は、コロナ禍による建物竣工の遅れやホテル等の宴会場向けが減少した2021年3月期をボトムに回復、
オフィス向けやコンベンションホールなど文化施設向けの増加を主因に、27年3月期上期は前年同期比20.0%増加と成長が加速



©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

第39回「日経ニューオフィス賞」受賞

- 昨年の東京オフィスに続き、今年は名古屋オフィス「Show Move Hub Nagoya」が日経ニューオフィス賞の【ニューオフィス推進賞】を受賞
- 当社のコア製品である移動間仕切を全面的に活用し、新しい働き方を自ら体現・発信する当社の空間づくりが高く評価された



@Kenta Hasegawa

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

加賀工場2号棟が竣工

- 加賀工場2号棟（新棟）が竣工、9月4日に竣工式を実施。2026年秋から製造設備を設置し、2027年5月に操業開始予定
- 第三工場の可動間仕切の一部の生産ラインを移管、オフィス向けなどで需要が大きく伸びている可動間仕切の生産能力を1.5倍に増強

狙い：中期経営計画「NEXT VISION 2028」を具現化

① 既存間仕切の成長：大規模案件の対応とシェア拡大

生産能力の向上により安定供給を実現
製品バリエーションを拡充し、シェア拡大を図る

② 新規製品の創出：次世代製品を生む研究拠点を新設

新工場内に「研究開発棟」を新設し、新たなモノづくりを推進
試作場等にお客様を招き、高いレベルのオーダーメイドを実現

③ 生産物流オペレーションの高度化：IoT等で効率化

IoTやAI技術を駆使した生産管理システムの最適化の実現
広大なストックヤードを確保し、製造から出荷までの工程を効率化



©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

2027年3月期　業績予想

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

業績予想

- 期初予想を継続。売上高は4.0%増収予想。26年9月末の受注残も10.2%増加しており、可動間仕切や移動間仕切の好調が続くと予想
- 営業利益は3.9%増益予想。材料費の上昇や人材投資の増加を見込むが、増収効果により増益を予想
- 2025年4月に配当方針を純資産配当率（DOE）3%から6%目安に変更しており、27年3月期の配当も前期比5円増配の135円を計画

単位：百万円	2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期 通期予想		前期比 増減率
売上高	44,616	100.0%	46,725	100.0%	48,600	100.0%	4.0%
営業利益	3,635	8.1%	4,099	8.8%	4,260	8.8%	3.9%
経常利益	3,756	8.4%	4,150	8.9%	4,310	8.9%	3.8%
当期純利益	2,650	5.9%	3,048	6.5%	3,050	6.3%	0.0%
1株当期純利益	145円64銭*		173円32銭		173円39銭		0.0%
1株当たり配当金	65円00銭*		130円00銭		135円00銭		3.8%

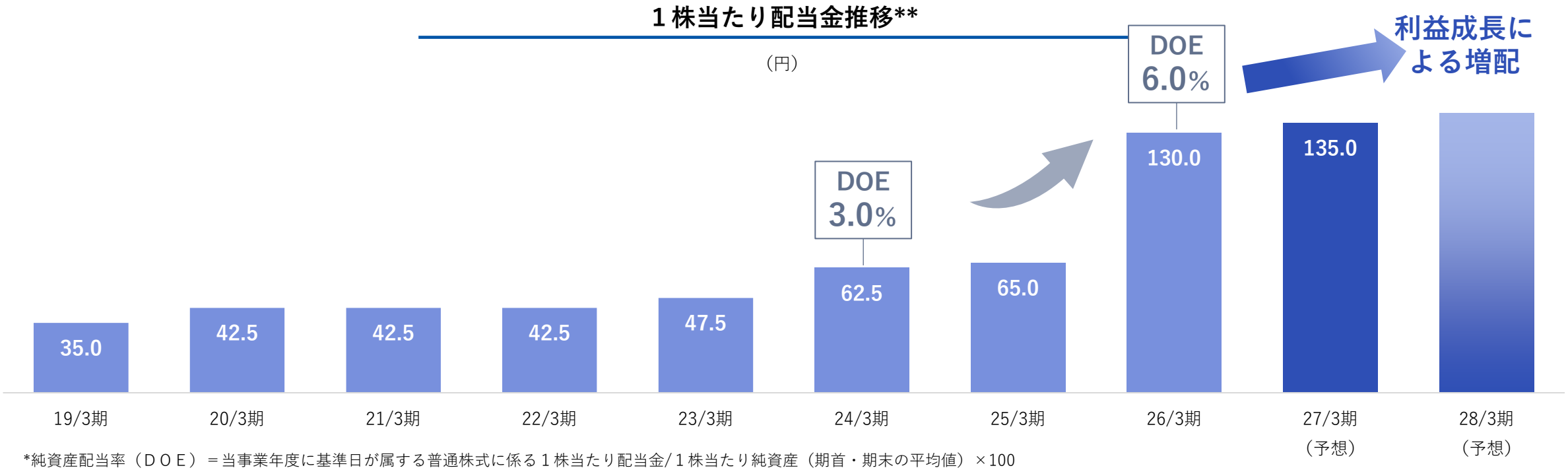
* 2024年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割。1株当たり当期純利益と1株当たり配当金の算出は分割後の株数で遡及修正

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

株主還元

- 2026年3月期から株主還元方針を変更し、純資産配当率（DOE）6%を目安とした配当へ引き上げ
- 上記方針に基づき、2027年3月期も前期比5円増配の135円を予想（期初予想継続）

純資産配当率*（ＤＯＥ）6%を目安とした配当を実施
持続的な成長も実現し、配当水準の安定的向上を目指す



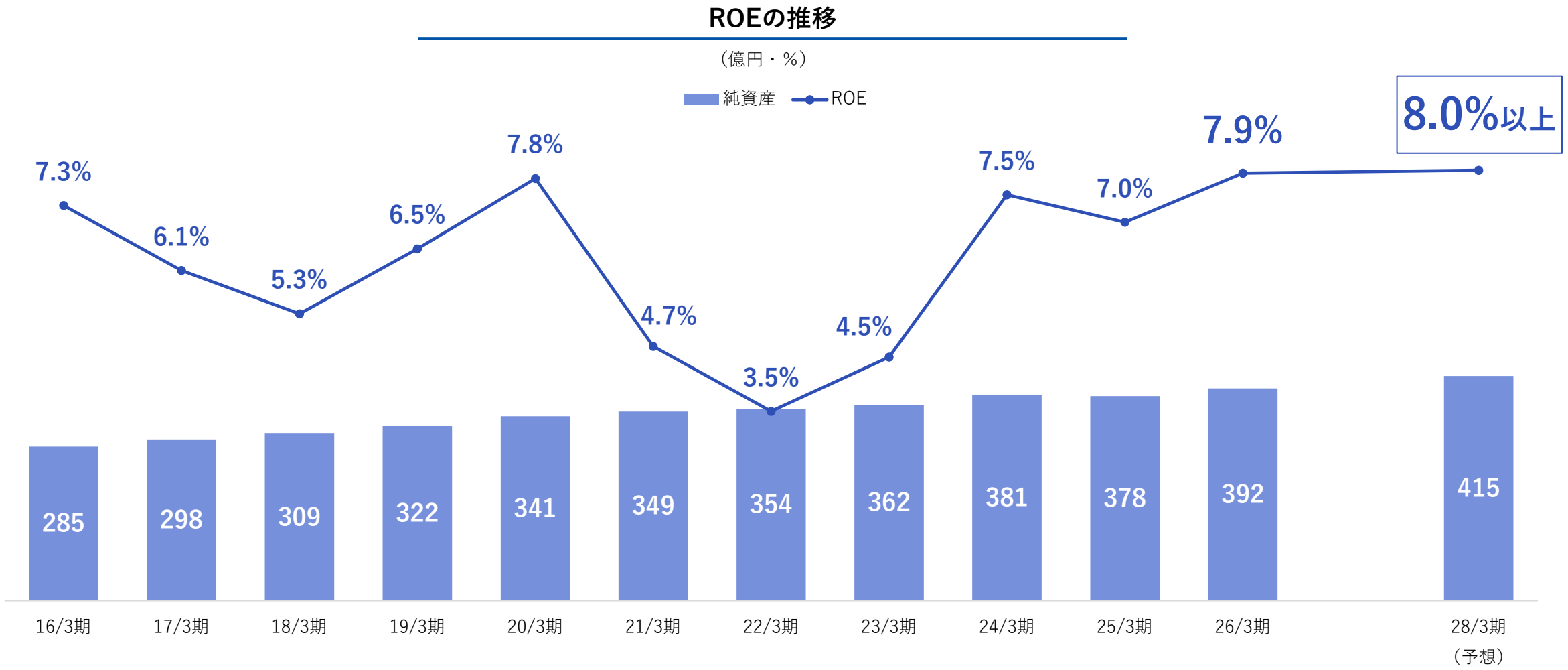
*純資産配当率（ＤＯＥ）＝当事業年度に基準日が属する普通株式に係る１株当たり配当金/１株当たり純資産（期首・期末の平均値）×100
**2024年10月1日付で1：2の株式分割を実施。過年度の配当金は株式分割後の株数での配当金に遡及修正

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

ROEの推移

▌売上高当期純利益率の改善と株主還元強化により、中計最終年度の2028年3月期にはROEを8%以上に引き上げる

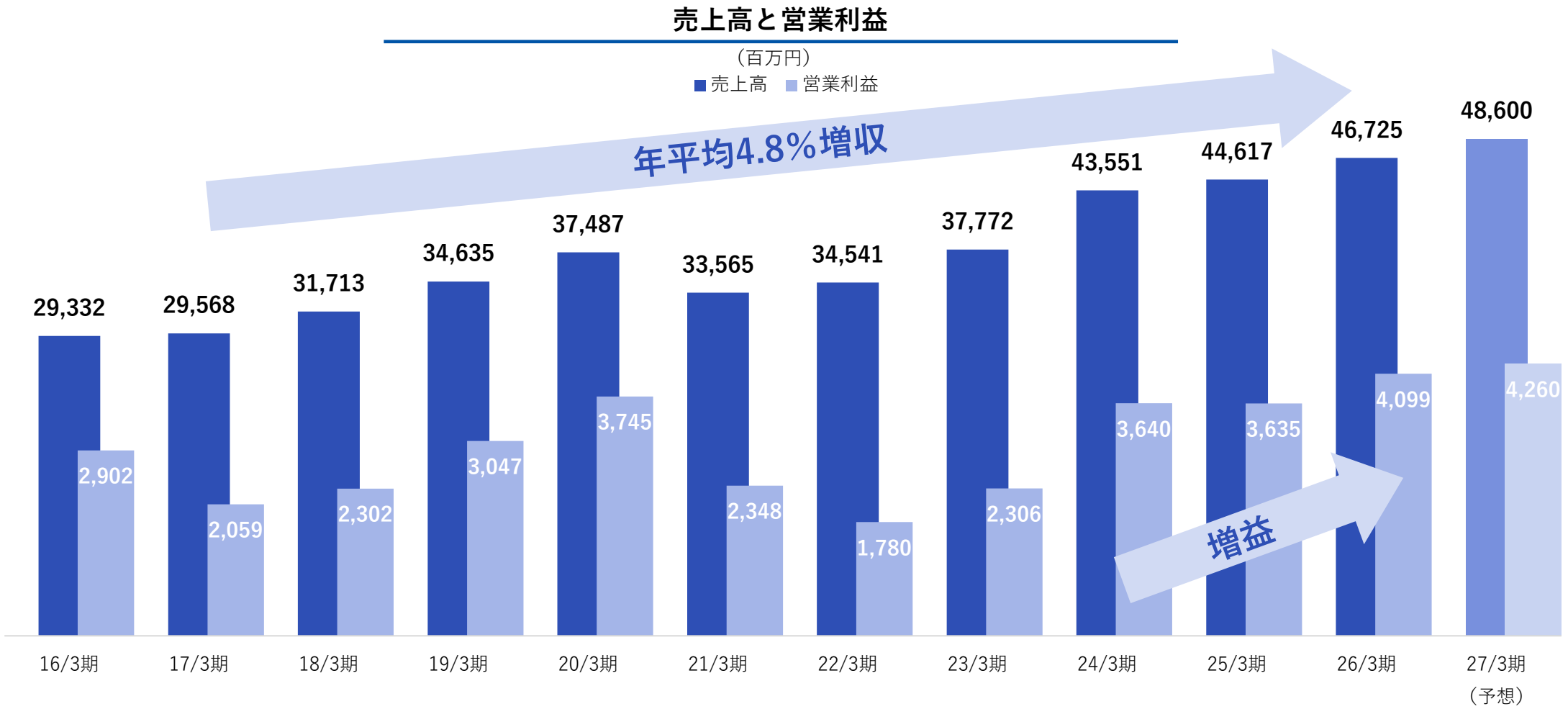
▌2026年3月期は増益の達成と、大幅な増配による純資産の増加抑制により、ROEは7.9%に上昇



©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

業績推移

- オフィス向け中心に間仕切需要拡大に伴い、売上高は2026年3月期まで過去10年間で年平均4.8%増収
- 2026年3月期は売上高・営業利益とも過去最高。2027年3月期も過去最高売上高・利益の更新を目指す



©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

2027年3月期第2四半期 決算概要説明

Appendix

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

貸借対照表

▌新工場建設に向けた投資により有形固定資産が増加、一方で支払いにより現預金が減少。季節性により3月末比で売上債権は減少
ROE向上に向けて、増配等により純資産の増加を抑制したが、自己資本比率は81.9%と引き続き高い財務安全性を維持

単位：百万円	2025年3月期末	2026年3月期末	2027年3月期2Q末	前期末差
流動資産	**31,322**	**27,189**	**23,711**	**△3,478**
現預金	16,714	12,245	10,750	△1,495
売上債権・契約資産	13,231	13,370	11,143	△2,227
棚卸資産	1,117	1,278	1,514	236
固定資産	**15,433**	**21,414**	**24,272**	**2,858**
有形固定資産	12,260	18,142	20,241	2,099
無形固定資産	415	431	512	81
投資その他の資産	2,757	2,840	3,517	677
総資産	**46,756**	**48,603**	**47,983**	**△620**
負債	**8,965**	**9,367**	**8,680**	△687
買掛金	2,323	2,423	2,260	△163
有利子負債	0	0	0	0
純資産	**37,790**	**39,236**	**39,302**	**66**
負債純資産合計	**46,756**	**48,603**	**47,983**	**△620**

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

キャッシュ・フロー計算書

▌利益計上や売上債権の減少等により営業CF*は2,855百万円、一方で新工場建設等の投資により投資CFは△2,708百万円

▌設備投資に伴う資金需要と配当金の支払等により、期末現預金は前年同期比3,904百万円減少し、9,125百万円へ

単位：百万円	2025年3月期2Q	2026年3月期2Q	2027年3月期2Q	前年同期差
営業活動によるキャッシュ・フロー	**1,677**	**2,576**	**2,855**	**279**
税引前当期純利益	1,100	1,220	1,265	45
減価償却費	564	586	546	△40
売上債権の増減額（△は増加）	2,388	2,079	2,227	148
棚卸資産の増減額（△は増加）	△90	△219	△235	△16
仕入債務の増減額（△は減少）	△392	△247	△163	84
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△1,156**	**△2,563**	**△2,708**	**△145**
有形固定資産の取得による支出	△639	△3,475	△2,548	927
定期預金の預入・払戻による支出入	△500	1,000	500	△500
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△669**	**△632**	**△1,165**	**△533**
配当金の支払額	△661	△625	△1,157	△532
現金及び現金同等物の期末残高	13,373	13,029	9,125	**△3,904**
フリーキャッシュ・フロー	521	13	147	**134**

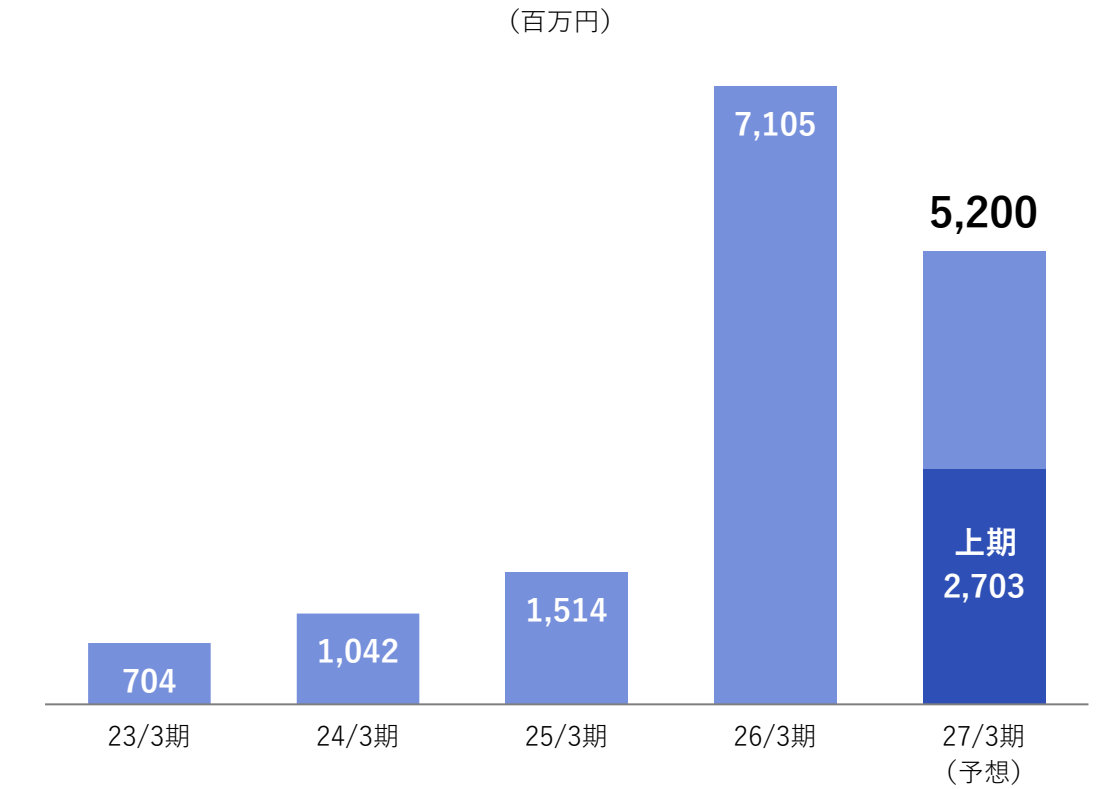
*CF：キャッシュ・フロー

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

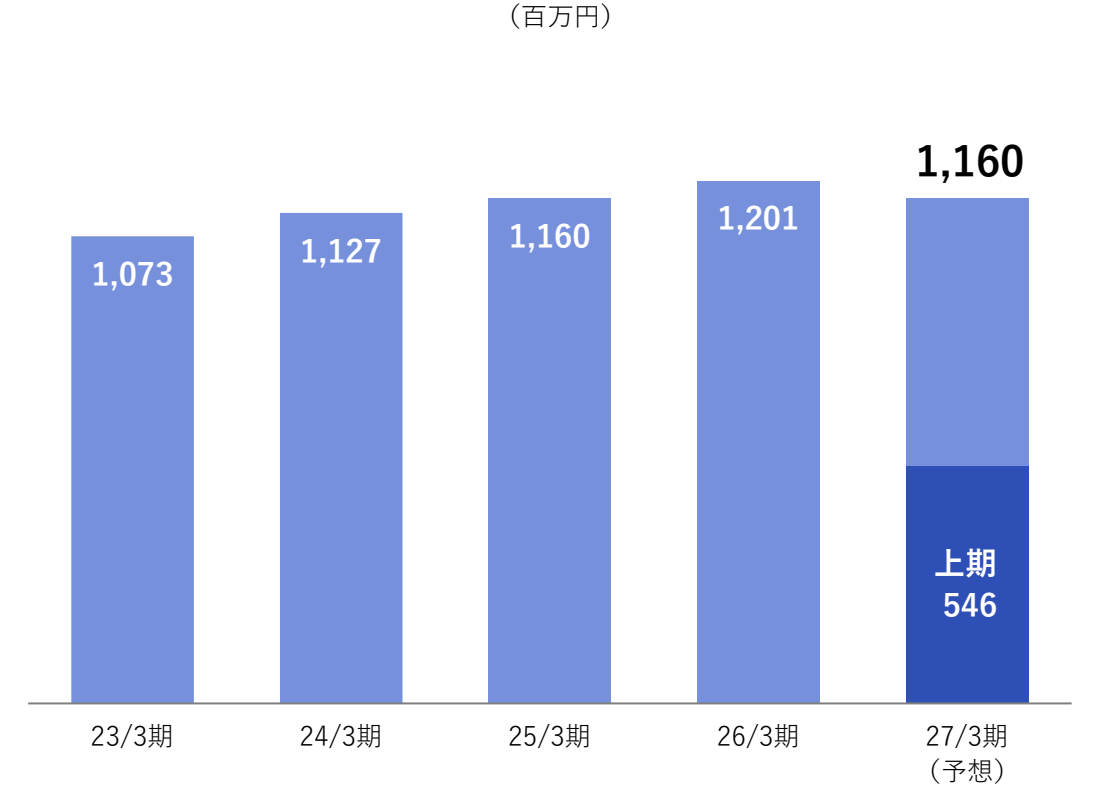
設備投資、減価償却費

- 2027年3月期上期は27億円の設備投資を実施。加賀工場2号棟関連が19億円、大阪や名古屋の物流倉庫の移転や改修、設備の維持更新等
- 27年3月期通期は52億円の設備投資を計画、加賀工場2号棟関連39億円や維持更新投資等

設備投資



減価償却費



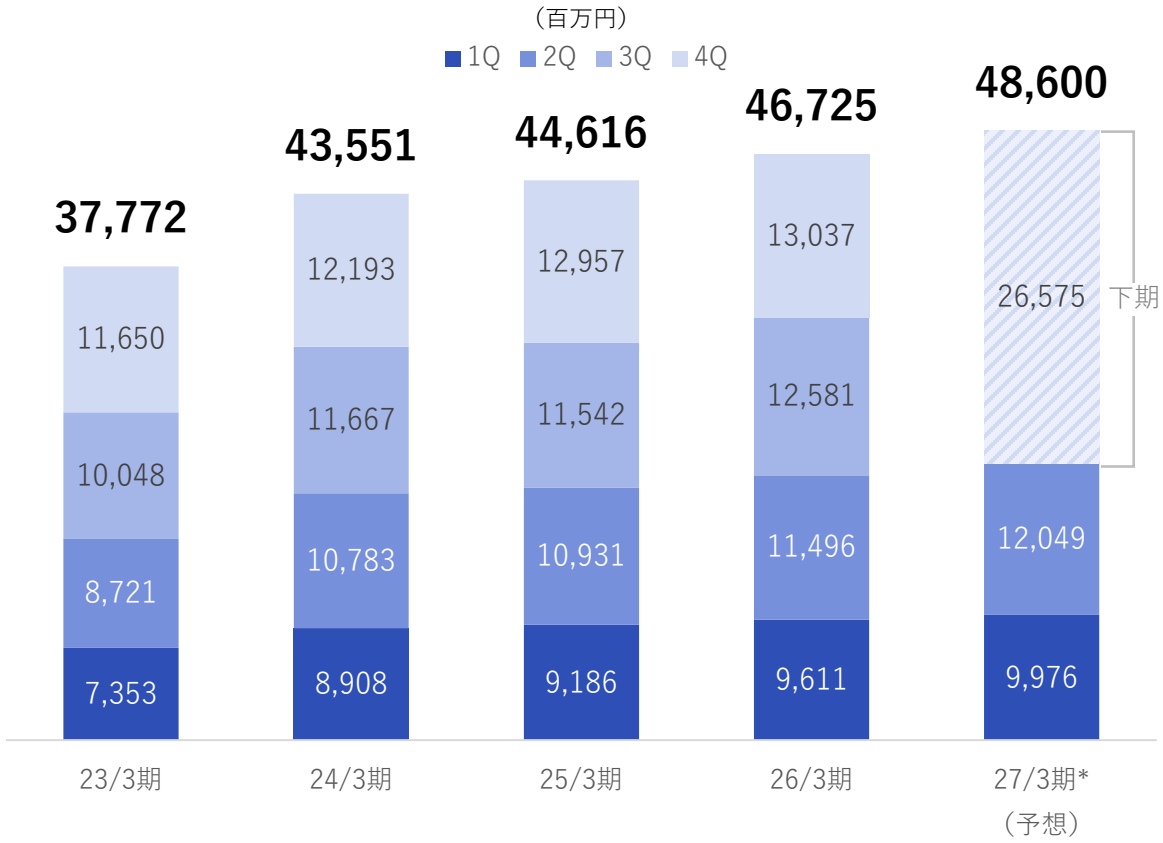
©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

四半期業績推移

▌2027年3月期7-9月はオフィスや文化施設向けが引き続き増収、ホテルなど宿泊施設向けも回復し、売上高は前年同期比4.8%増収

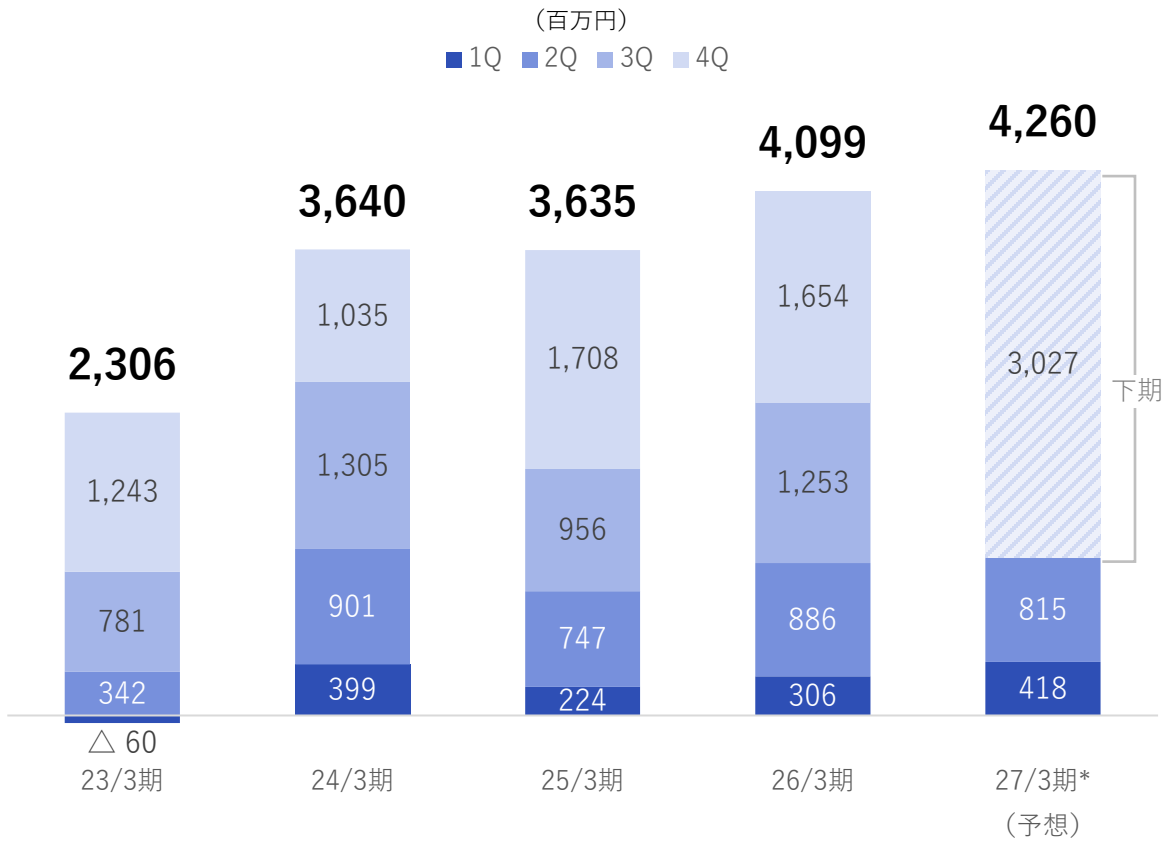
▌原材料価格は上昇したものの、製品ミックスの改善等により売上総利益は前年同期比2.9%増益、一方で販管費の増加により営業減益

四半期売上高



* 27/3期通期は当社業績予想値

四半期営業利益

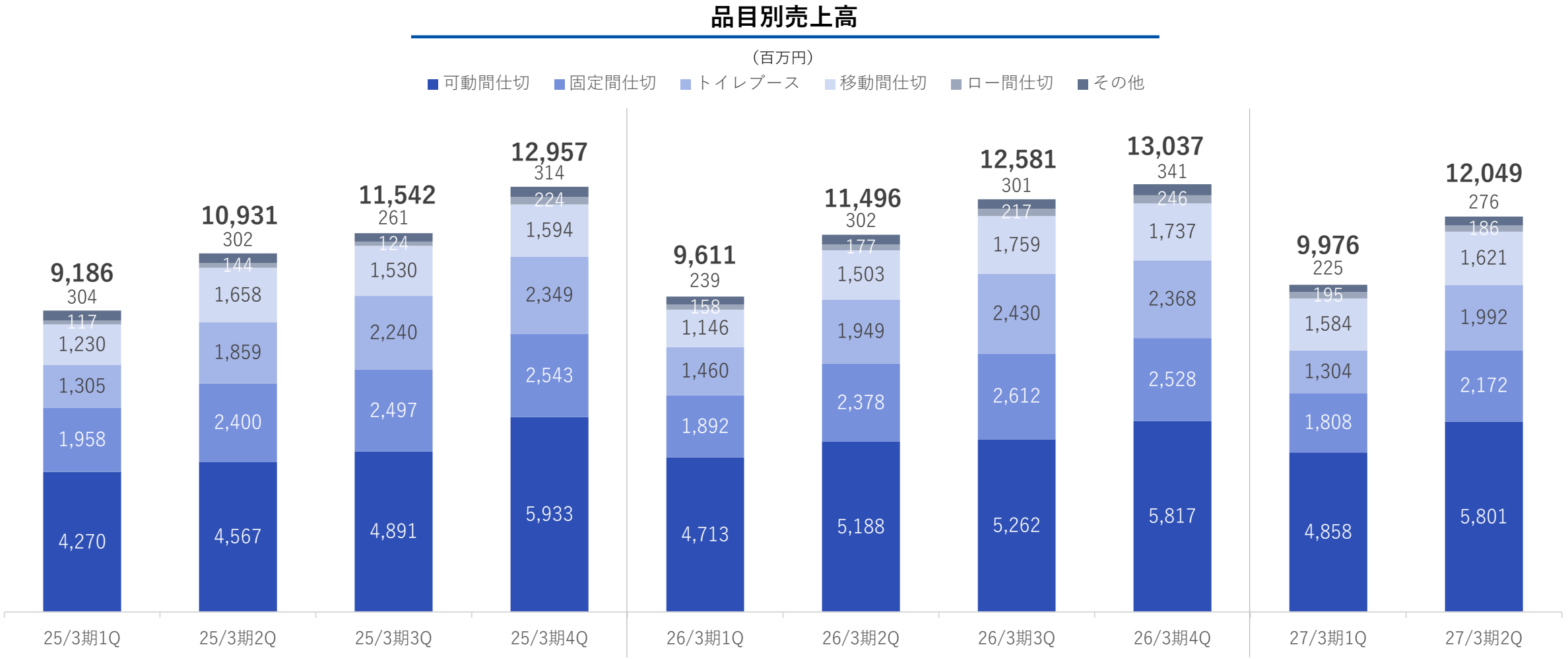


* 27/3期通期は当社業績予想値

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

四半期品目別売上高推移

2027年3月期7-9月は前年同期比4.8%増収、可動間仕切はオフィス向けが引き続き好調、移動間仕切もオフィスや文化施設向けが堅調、一方で、固定間仕切は工場や福祉施設向けが減少



©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

工場

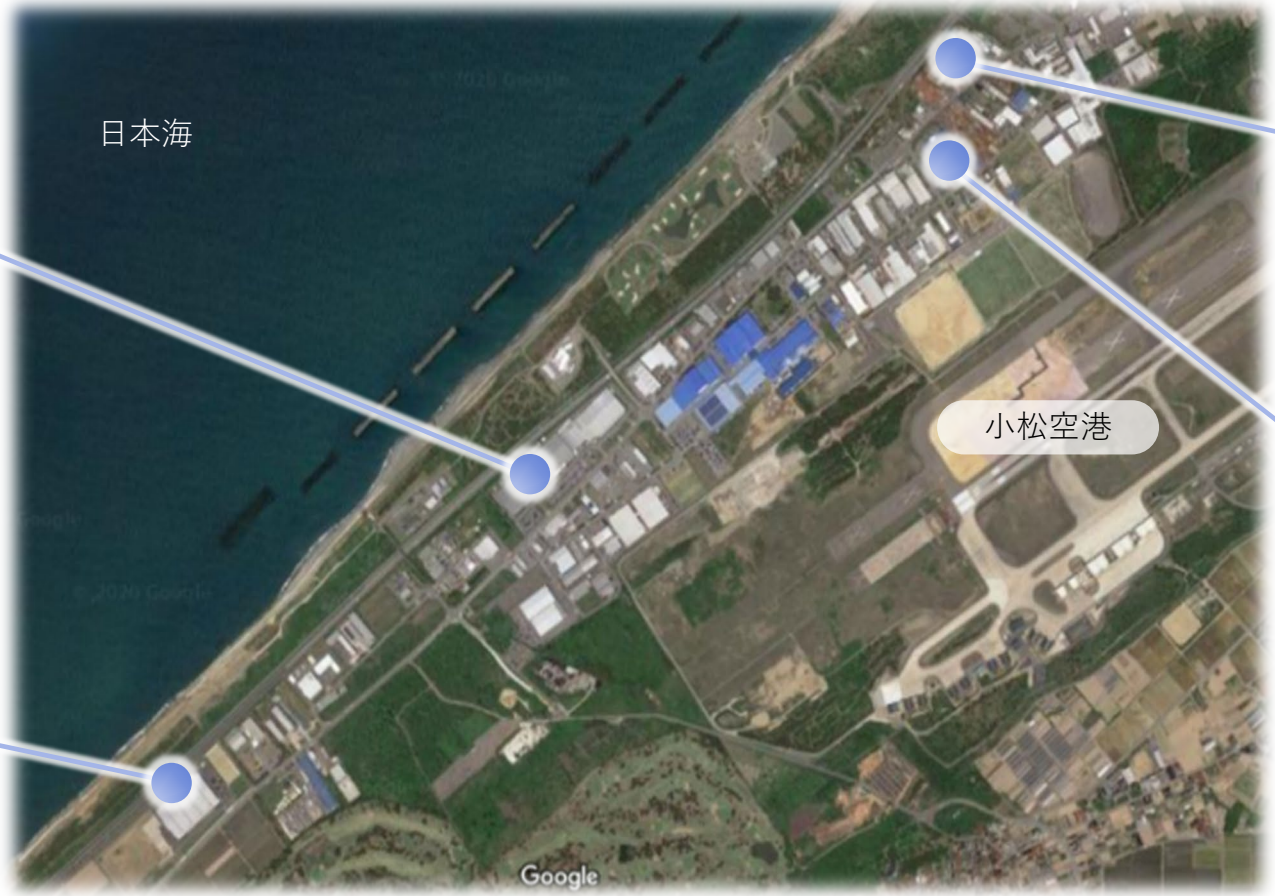
▌石川県小松市、加賀市の4工場で間仕切・トイレブース・ドアを製造

第三工場
可動間仕切の製造



加賀工場
ドアの製造





第一工場
移動間仕切の製造



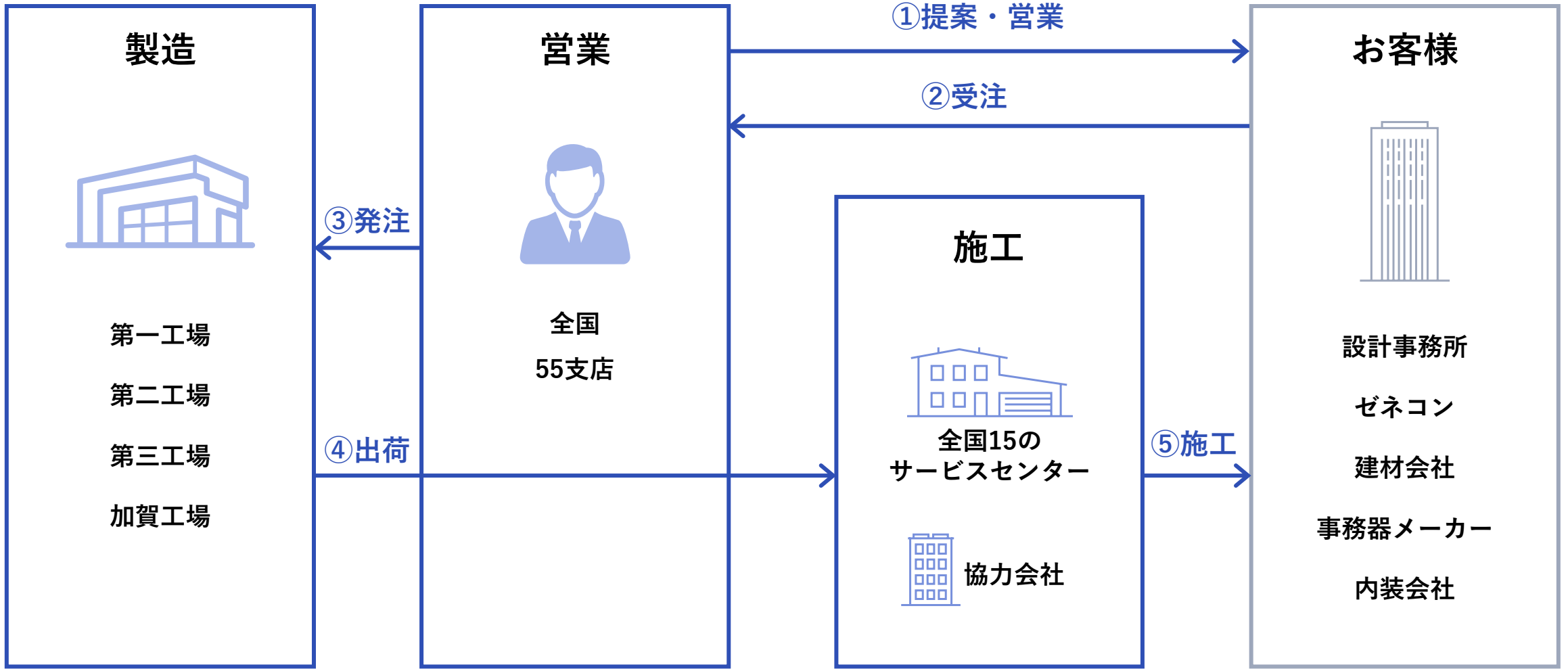
本社・第二工場
本社及び
トイレブースの製造



©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

ビジネスの流れ

▌製造から施工まで当社で対応、営業は全国55支店、製造は4工場



©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

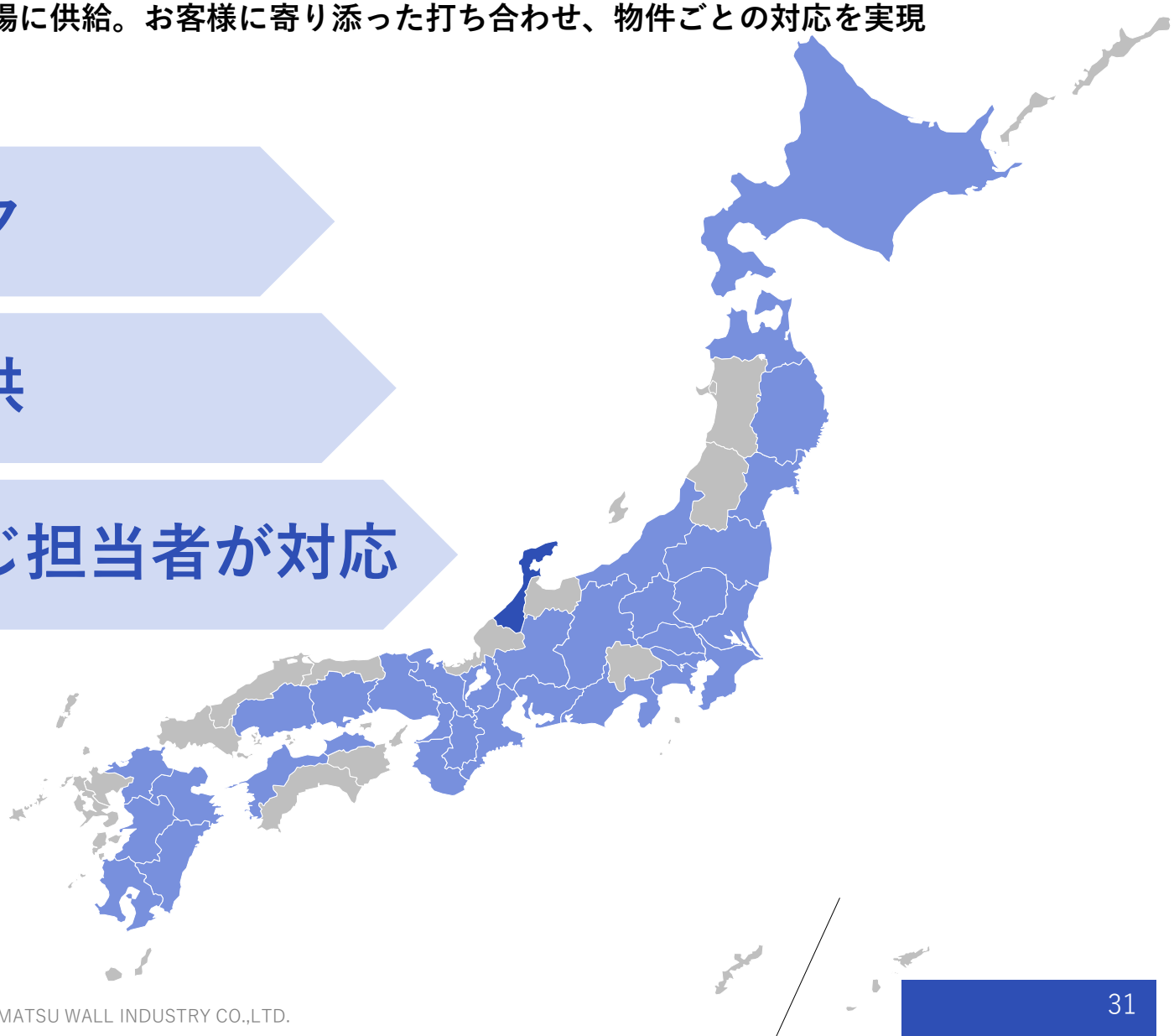
営業網

▌全国に55拠点の支店を配置、全国に安定した納期、品質で市場に供給。お客様に寄り添った打ち合わせ、物件ごとの対応を実現

■ 地域での強いネットワーク

■ オーダーメイド品の提供

■ 受注から施工まで同じ担当者が対応



*青色の都道府県には支店を設置

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

オーダーメイド対応へのこだわり

▌自社開発品の提案のみならず、設計事務所などからの要望に沿った製品も開発・設計



©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

オーダーメイドを短納期で成し遂げる生産ライン

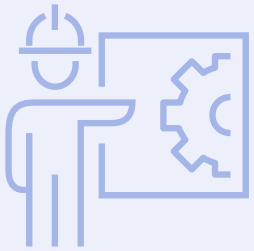
▌小ロット多品種生産ができる仕組みを作り、オーダーメイド品を効率的に生産。受注から出荷まで3～4週間で対応



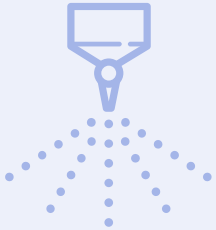
設計の自動化



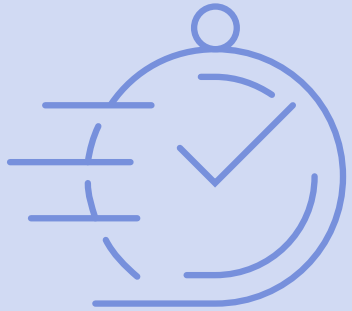
工程ごとの
きめ細やかな管理体制



自動化ライン
ヒトと機械の効率分業



自社塗装ライン

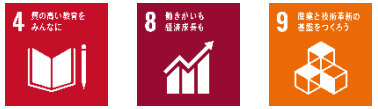
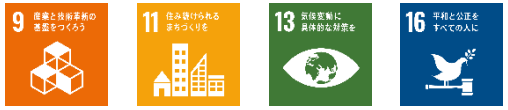


オーダーメイド品を
短納期で出荷

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

サステナビリティ推進

▌特定したマテリアリティに基づき、マテリアリティ経営を推進する

	マテリアリティ	テーマ	関連するSDGs
E	持続可能な循環型社会の実現	• カーボンニュートラルに向けた取り組み • 再生可能エネルギーの利用 • 廃棄物削減と資源の有効活用	
	製品を通じた気候変動対応への貢献	• サステナビリティ需要対応に向けた製品開発・改良	
S	人材開発	• 人材育成の強化	
	Well-being	• 理念戦略の浸透 • 働きがいの向上、ワークライフバランス、健康推進 • 人権・多様性の尊重と多様な人材の活躍 （ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）	
	DX推進と生産性の向上	• デジタルデータの活用と社内業務の協働による ビジネスモデルの構築	
	ステークホルダーエンゲージメント	• サプライヤーとの共存共栄 • 顧客満足・信頼の追求	
G	ガバナンスの更なる改革	• コンプライアンスの徹底	
	リスクマネジメント	• 災害対策、リスク管理体制の強化	

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

2027年3月期第2四半期 決算概要説明

中期経営計画 「NEXT VISION 2028」 進捗（2024年3月期～2028年3月期）

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

中期経営計画目標と進捗

- 中期経営計画「NEXT VISION 2028」は想定を上回るペースで進捗、26年3月期期初に計画目標を上方修正
- 2026年3月期の売上高成長率と営業利益率は好調な進捗、ROEも7.9%と目標値をほぼ達成

	2028年3月期目標		2026年3月期実績
	変更前（2023年4月発表）	変更後（2025年4月修正）	
ROE	5%～8%	8%以上	7.9%
売上高成長率	3%～6%	4%～6%	7.3%*
営業利益率	7%～10%	8%～10%	8.8%

*2023年3月期からの年平均成長率

©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

既存間仕切事業の成長　2026年3月期進捗

- 2025年5月から東京ショールームで建築セミナーを定期開催し来場者が増加、6月に名古屋ショールームを増床リニューアル
- 東京ショールームが第38回「日経ニューオフィス賞」を受賞、ショールームの認知や製品の成約に効果
- 25年1月にトイレブースの新製品「haremo」を発売、環境にやさしいオレフィンシートを採用、デザインと価格を両立



©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

新規製品の創出　2026年3月期進捗

高層階で使える移動壁（移動間仕切）「SKYDOOR」を発売、ブルーフロント芝浦 28階の外壁に採用



©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

生産・物流オペレーションの高度化　2026年3月期進捗

- 2024年4月に加賀工場2号棟（新棟）の建設を公表、第三工場の可動間仕切の一部の生産ラインを移管し、生産能力増強
- 2027年5月の操業開始に向けて、2026年秋から工場建屋に製造設備を設置予定
- 中期経営計画期間中の設備投資は150億円以上を計画

名　　称	加賀工場2号棟
主 な 事 業	可動間仕切の製造・研究開発
投 資 金 額	約95億円
建 築 面 積	約19,000㎡
延 床 面 積	約19,700㎡
建設開始年月	2025年5月
操業開始年月	2027年5月予定



©KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.

小松ウオール工業株式会社　｜　東証プライム　7949

お問合せ先

小松ウオール工業株式会社
社長室
TEL 0761-21-3131(代表)
https://www.komatsuwall.co.jp/form/form.php?form_id=201

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。